



題字 山本健治先生

### 第51号

発行

児童養護施設 晴香園  
〒270-0011 千葉県松戸市根木内145  
電話 047(345)2722  
FAX 047(309)8807  
E-mail: info@s-haruka.org



## 旅立ちの会

去る3月9日、旅立ちの会が行われました。今年はず名の卒園生が晴香園を巣立ちました。

今回はコロナ禍を経て、数名、来賓の方をお招きしての開催が叶いました。司会進行はYちゃん(17歳)。旅立ちの会で子どもが司会をすることは初めてでしたが、立派に務めてくれました。まずは職員を代表してFさんが、長い間担当していたH君に向けてユーモアいっぱい送る言葉を伝えました。Fさんのそんな送る言葉に込める形で

卒園生を代表し、H君もユーモアいっぱい旅立ちの言葉を返し、会場は笑いに包まれました。

しかし、そのように会場の笑いを誘ったかと思えば、日々の思い出を大切に思う気

持ちや、職員への感謝の気持ちを、誠実に言葉にしてくれる姿もあり、大人としてはほろりとしてしまいました。

最後には、この日の為にひたむきに練習に取り組んでいたSちゃん(16歳)のピアノ伴奏で「旅立ちの日に」を合唱しました。

そんな、笑いと涙が溢れる大切な1日となりました。



希望を胸に

### 送る言葉

#### 職員FからH君へ

あなたと出会ってから早いもので約10年の月日が経ちました。私が入職した時はまだ小学生で、その時の印象はとにかくトラブルが起きると大体

中心にいる人物でした。学校でもそれは変わらず、電話が来ることも多かったです。特に印象に残っているものといえば習字の授業で使った洗った筆を、何を思ったのか振り回して、クラスメイト10数名の洋服に墨汁を撒き散らし

持って帰ってきたことです(笑)。当時のホーム職員3人で何度も手洗いをして大変でした。そんなあなたも、中学校のバスケットに入ると、そこからはバスケットのことばかり考える様になりました。小学生の時とは打って変わって、電話が来ることはほとんどありませんでした。

高校選択の時期になると頑なにバスケの強い高校がいいと譲らず、職員や塾の先生の助言には耳を傾けませんでした。模試では点数が全く足りず、合格率も20%だったのでとても不安でしたが、部活を引退してからは受験に向けても努力していました。正直に言うところ落ちると思っていました。それもいい経験かなと職員は心の準備をしていますが、見事合格しました。高校

でも部活を続け、強豪校だったので朝早くから夜遅くまで3年間本当によく頑張りました。

これからは専門学校に進みますが、自分でやると決めたことなのできつとやりきることでしよう。しかし、自由になる部分が多いだけに心配です。あなたからしたら余計なお世話だと思われるかもしれませんが、心配は絶えないのでたまには顔を出してください。これからも応援しています。

### 旅立ちの言葉

#### H君(18歳) 専門学校進学

本日はこのような会を開いて頂きありがとうございます。そして、本日お越しになっている来賓の皆様、本日はお忙しい中足を運んで頂きありがとうございます。ありがとうございます。

僕は、幼稚園の年長の頃に晴香園にきました。その頃からクソガキなのは変わっていません。職員Mさん(女性)、職員Mさん(男性)、職員Fさん(男性)ですが、あの頃は色々

すみませんでした。それでも最後まで向き合い続けてくれたこと、感謝しています。職員Nさん(女性)にもお世話になりました。今も気にかけてくれてありがとうございます。元気に旅立ちます。

僕はバスケがずっと好きだったので、千葉で強豪と言われる高校に進学しました。ほぼ毎日が部活で多分適当な態度をとっていた日が多かったと思います。職員Fさん、職員Tさん(女性)、職員Iさん(女性)、それでも毎日弁当を作ってくれてありがとうございます。洗濯もかなり大変だったと思います。本当に感謝しています。おかげでなんとかやりきることができました。そういえば職員Aさん(男性)を忘れていました(笑)。とても気のきく人でいろいろな方面で助けてもらいました。ありがとうございます。職員Iさんと職員Tさんと職員Iさんになってしまって、2人で結構大変だったと思います。めちゃくちゃわがまま言ったと思います。最後まで僕のことを理解して面倒を見てくれた

こと本当に感謝しています。園を出た後は専門に進学します。トレーナーを目指しているので、また大変な道のりになりそうですが、頑張ります。

**R君(18歳) 大学進学**

僕は中学3年生の10月頃に来ました。初めは、進学する高校を探すことや遅れていた勉強を頑張ったりすることで大変でした。

高校に進学してから後援会の方々との交流も増えていきまし。高校1年生の時は新しい環境になり周りに知り合いが誰もいなかったのですが行事を通して数々の友人と出会い交流を深めていき、良い滑り出しでした。そして勉強も良い成績を残せました。

その後、後援会の方達とミラコスタや交流会を通して現状を報告し様々な助言ももらったりし、とても助かりました。そして学び基金での援助などもしてくださりととても嬉しかったです。

ホーム職員さん達はまず晴香園に来た時に受験生だったことから、進学先の高校を決



記念品贈呈

めるのを手伝ってくれ、書類関係の書き方も教えてくれて助かりました。その後も色々な相談にのってくれたり、最近では進路を決める手助けをしてくれたり、本当に助かりつつありがたいと思していました。

**M君(18歳) 大学進学**

僕が晴香園で過ごしたのは、15年程でした。思い返すと、様々な事がありました。他の子や時には、職員の人もケンカをした事もありました。いろんな職員に様々な場所へ連れて行ってもらいました。公園や遊園地・水族館・スポーツ観戦、他にも多くの場

所へ行き、そのどれもが大切な思い出となりました。

僕の担当の職員へは、多くの心配をかけた事でしょう。朝は起きないし、提出期限は遅れるし、楽観的だしと自分の事ながら高校を無事卒業出来た事、ひいては、大学へ進出た事は、奇跡だとも思います。その奇跡が起きたのは、自分の力だけではなく、数多くの大人達が協力してくれたからだと思います。職員達は心配事がまだまだ尽きないかもしれませんが、僕が大学2年生へ進級するのを楽しみにしていただきます。

最後にはなりますが、ホーム職員達、事務所の人達、本部の人達、そしてこれまでの職員達へ、今までありがとうございます。ありがとうございました。



**松井秀文後援会会長**

いつも晴香園を温かく支えてくださっている後援会の皆様をはじめ、ボランティアの方々、地域の皆様には大変有

り難く心から感謝申し上げます。今年も3月9日に、3名の子ども達が晴香園を卒業し、希望した専門学校や大学に進学、新たな道を歩み始めました。

今回はその「旅立ちの会」の席で3人の卒業生に向けて話した内容の一部を紹介させていただきます。

「卒園と進学おめでとうございませす。

3人に申し上げたいのは、自分の目標について、それが今考えていることと変わって、も一向に構わないのですが、「何のため」にそれを目標にしたのかをしっかりと考え、その実現のために努力してほしいということ。その目標実現のための過程では「そのことに熱中・没頭する時間」が必要。その時間が長ければ長いほど自分の成長につながり、良い結果につながると思っています。

日君は「学び基金(奨学金)」の面接の時に、高校時代のバスケットボールの部活を通し



て人間的に成長出来たと言っています。これは、H君がバスケットボールが好きで向上心を持って熱心に取り組んだ結果だと思えます。このような夢中になる時間が人を成長させます。

皆さんは十分認識していると思いますが、人生は平坦な道ばかりではありません。時に困難にぶつかり、悩んだり、苦しんだりすることが起きます。

R君の名前には「凌」という字がありますが、これは「しのぐ」や「乗り越える」という意味で、名前の下の「大」は「立派になる」「優れた人になる」という意味だと思えます。この名前には、人生のハードルを乗り越えて成長して欲しいという思いが込められていると思えます。苦しい時に大切なのはR君の名前にある「しのぐ」こと。それには「自分は絶対にこれを乗り越えるぞ」と強く思い自分を信じて耐えて、前に進むことが大切とあります。



門出

ボールの経験を活かして「アスレチックトレーナー」を目指して専門学校に行き、出来たらそのあと医療系の資格も取得し、バスケットボールチームの選手を支えるトレーナーになりたいと言っていました。H君はその名前のようにサポートする選手が「ひかる」ように選手を支え、そして自分自身も「ひかる」人間となって欲しいと思えます。

やはり、「学び基金」の面接の時、M君は海外に関わる仕事につきたい、R君はコミュニケーション関係の仕事で社会に貢献したいと語ってくれました。二人も同じように周りの人を「光り輝かせ」、結果自分自身も「光り輝く」、そういう人間となってくれることを期待しています。

永六輔さんという人が「生きるということ」は誰かに借りをつくること。生きていくということはその借りを返していくこと」という主旨のこと

を言っています。卒園しても何かあったら職員の方でも、友人でも、我々後援会の人にも躊躇せず頼ってください。必ず誰かが助けてくれるはず。そして努力して成長していきながら、社会に役立つ仕事をし、いつかその恩を返せばよいのです。皆さんの活躍を大いに期待しています。」

どうか皆様の心温かいご支援を引き続きよろしくお願ひします。



もちつき

もち米ってこうやって蒸すんだ

12月27日、元旦を迎えるべく園内で数年ぶりに餅つきが行われました。

ついたお餅は甘いものからしょっぱいものまで様々に味付け。職員お手製の魂のこもった豚汁も振舞われ、一足早いお正月の味に舌鼓を打ちました。

つきたてのお餅美味しかったですね！



べったんべったん♪



# 新規会員ご入会継続会員費

## 納入ありがとうございます

お名前に誤字、脱字、記載漏れがありましたらお詫び申し上げます。また、その旨のご連絡をいただきたくお願い申し上げます。(今号では、令和5年10月16日から令和6年2月29日までに、ご入会の方及び会費を納入いただいた方を掲載させていただきます。)

(敬称略・順不同)

### 【新規会員】

吉倉 秀樹 金成 隆宏

### 【継続会員】

東 廣光 富澤 和江  
 佐藤 徹夫 倉持 淑子  
 月館 聡成 大野 紀美代  
 梅村 旻二 柴野 太郎  
 長谷川 義晃 猿渡 英明  
 上田 実帆子 倉島 広治  
 藤田 純子 助川 かづ美  
 藤竹 晶子 加藤 康成  
 鈴木 愛子 菅原 久  
 三谷 憲一 一杉 秀平  
 藤塚 光慶 田幡 裕子

古川 正紘 根岸 正国  
 山口 双葉 佐藤 暁子  
 飯淵 恵美 板垣 弘毅  
 田村 茂 金子 公子  
 渡部 美智子 若松 雅子  
 樋渡 利秋 篠原 英明  
 草間 敏夫 徳間 房子  
 大尾 敏博 小川 早苗  
 加納 眞利子 竹下 敦子  
 百瀬 多可子 岡田 安生  
 中沢 静男 鳥井 大祐  
 土屋 供生 藤原 房子  
 宇井 ひさ江 内山 忠  
 墳崎 敏之 守谷 朱美  
 藤川 藤穂 梅本 恒子  
 伊達 年子 大町 勝  
 竹崎 典夫 藤永 健二  
 縫部 鉄次郎 粕谷 恭一  
 堀井 豊 佐南谷 雅枝  
 山本 忠明 木元 淳平  
 石川 琢哉 山田 英明  
 弓削 喜代子 甲田 舞  
 城野 公正 三石 治子  
 佐々木 襄 太田 和利  
 室橋 博史 佐藤 守

湯本 壬喜枝 尾方 景子  
 野尻 壽子 荻部 寿美  
 小川 千恵子  
 竹之内 由美子  
 レイクチャールズ&聖衣子  
 コガ エリコ  
 マエダ トシユキ  
 ジャンボランドリーふわふわ松戸元山店  
 ライトモケイ  
 レコードブック柏松葉町  
 松戸友の会  
 合同会社 Be First  
 合同会社 K I I N  
 合同会社深作運送  
 社会保険労務士法人あすなろ  
 (株)吉廣商事 (株)ユーライフ  
 (株)ユウキ東洋 (株)智泉  
 太陽不動産 なのなのな(株)  
 ビス(株) 樹商事(株)  
 (株)花創美 (有)長島産業  
 (株)山野辺建設 (株)さかもと  
 日本クリン(株) 万屋食品(株)  
 内村物産(株) ナカイ(株)  
 (株)関東共同土建  
 (株)羽後交通工業  
 (株)ヘルスファミリ  
 (株)森モーターズ  
 (株)ライフサポート  
 鹿児島ファミリ  
 (有)ユー・アイ・コンサルティン



双子で  
ホットケーキ  
作りに挑戦♪



(有)ファミリライフクラモチ  
 (株)ライフプラン あさみ  
 (有)東出ライフサービス  
 (有)ときわだいら動物病院  
 平和店舗デザイン(株)  
 松戸ラジコンクラブ  
 (有)ファミリサポート  
 (有)コンシエルジュMドリーム  
 (株)アップ・シーアイ  
 (有)ウイズライフ  
 匿名

「晴香まなび基金」へのご寄付  
 ご厚意ありがとうございました

浅川 文雄 金村 慶一  
 長谷川 教佐 清宮 尚代  
 飯田 展久 本庄 亮一  
 福井 尚生 永井 節子  
 浅井 利明 樋口 晴彦  
 佐々木 瑞恵 東 秀隆  
 三木谷 晴子  
 スズキ ツトム  
 マエダ トシユキ  
 ヤマウラ フミオ  
 ナカザワ シマコ(サイシユ)  
 コガ エリコ  
 レイクチャールズ&聖衣子  
 流通経済大学  
 サントレーディング(有)

心温まるご厚意  
 ありがとうございます

須藤 勝 川田 哲男  
 小室 祐生 上屋 潤  
 ハネス 真 野口 美幸  
 鈴木 昌孝 城野 公正  
 オガワ ヨシオキ  
 14兄相と親子の架け橋千葉の会  
 六実地区民生委員



- 岩崎電気管理事務所
- 松戸地区保護司会
- 松戸市社会福祉協議会
- (株)テック
- 貴園と同じ名の子を持つ母
- 匿名
- 正岡 久武 金城 雅夫
- 花房 輝彬 中村 康子
- 高野 まゆみ 門司 一徹
- 野間 信護 船橋 弘子
- 山口 萌子
- 古川 真由子
- 高井 保秀 吉井 秀仁
- 田崎 明芳 浦上 寛太
- 向井 由美子 橋本 薫
- フクヤマ
- ほっともつと
- 日本鏡餅組合
- 松戸市子ども家庭支援センター 遠山
- 山崎製パン従業員組合松戸支部
- リフレサークルフィール
- 合同会社 深作運送
- (株)日本教文社
- (株)BACKSTAGE
- グランマChie
- 柏市社会福祉協議会
- (株)八天堂
- コンラッド東京
- NPO イマジン

- (株)フレール館出版
- (株)浜友A・L 楽園松戸店
- (有)松正酒店
- 全国シヤンメリー協同組合
- 楽園 柏店
- poonoosamy
- Miya Mico Jaya
- 東京都出産・子育て応援事務局
- 東京都委託事業者ハーモニック
- コンテンツ事業部 出版
- マーケティング部CSチーム
- 千葉地方家庭裁判所内
- 千葉少年友の会松戸支部
- 聖光ヶ丘病院
- NPO法人次代の創造工房
- 株式会社フルボン
- (株)紀文食品
- フィリップモリスジャパン合同会社
- 毎日新聞東京社会事業団
- 特定非営利活動法人子供地球基金
- KIDSEARTHFUND
- 野口 美幸



すごい!



乗れるようになったよ!



- ボランテアのご協力  
ありがとうございました
- 【学習】
- 猿渡 英明 小林 由美子
- 丹生谷 朋子 田中 里奈
- 友寄 美津子 柴田 和子
- 【音楽・ピアノ】
- 黒岩 美津子 石井 田鶴子
- 【英語】
- 一般社団法人JOEE
- 【ケーキ】
- オペラ座
- 【花】
- 松戸更生保護女性会
- NPO法人 imagine 副理事長
- 山下 緋沙子
- 【遊び】
- 一般社団法人はこぶね



手作り絵本

地域支援を通して、特別養子縁組をしているご家庭の児童に出会いました。初対面の時に、Nちゃん(小1)より手作りの絵本をいただきました。Nちゃんの保護者のKさんは、「実は別の里親の集まりの会場でみんなにプレゼントしようとしたけれど、Nちゃんが緊張してしまって、渡せなかつたんです。なので第1号のプレゼント相手です!!」と記念すべき瞬間に立ち会う事が出来ました。その絵本をご紹介します。その絵本をこ



『里親さんと子どもたち』  
作・絵 N

里親さんと暮らす子どもたちがいるよ。里親はそだててくれるパパとママ。  
うんでくれたママはどうしてもそだてることができなかつたの。  
里親さんくらす 子どもたちの1日はこんなかんじ。  
里親さんといっしょにあさごはんをたべて学校へいって夜ごはんをたべて おふるに入っていっしょにねる。  
みんなとかわらない。  
かぞくといっしょにしあわせにくらしてる。里親さんと子どもたちは 心でつながってるかぞくだよ。

N 里親さんのおうちでくらす6さいの女の子。生んでくれたママとパパ、里親さんに愛をこめて♡



## 子どもたちと後援会員との交流会のお知らせ

**日時** 令和6年5月11日(土) 11:30~13:30

**会場** ロイヤルガーデンパレス 柏 日本閣

**参加費** 後援会員2,000円

**内容** 晴香園の子どもたちと会食



### ~ご出席のご連絡のお願い~

ご参加をいただける方は、事前に下記までご連絡をお願いいたします。

●期限:令和6年4月29日(月・祝) ●電話:047-345-2722

## お振込先口座のご案内

### 後援会へのご寄付について

※法人会員 年会費5,000円以上  
個人会員 年会費2,000円以上でお願いしています。

みずほ銀行 北小金支店  
口座番号 普通 3003235  
口座名 社会福祉法人晴香

※寄付金に関する詳細は、  
下記にお問い合わせください。

〒270-0011  
千葉県松戸市根木内145  
社会福祉法人 晴香

### まなび基金へのご寄付について

みずほ銀行 北小金支店  
口座番号 普通 3003243  
口座名 社会福祉法人晴香

TEL.047-345-2722  
FAX.047-309-8807  
E-Mail: info@s-haruka.org

### 就任挨拶

この度、令和6年1月4日  
付け人事異動に伴い、藤本裕  
司養育部長、宮田善則施設長  
の後任として養育部長兼、児  
童養護施設晴香園施設長を拜  
命致しました渡部愛子と申し  
ます。

平成23年に当法人の放課後  
児童クラブ長として入職して  
以来、児童養護施設晴香園総  
務課長、副施設長、法人本部  
本部長と務めさせて頂いた中  
で、多くのことを学ばせて  
いただきました。

甚だ微力ではございます  
が、子どもたちのため、晴香の  
発展のために日々努力してま  
いります。

今後も前任者同様、ご指導  
ご支援を賜りますようお願い  
申し上げます。



### 編集後記

徐々に寒さが和らぎ花の便  
りも届く今日この頃、子ども  
達は新しい環境に期待と不安  
でいっぱいです。

この編集後記をどう書こう  
か一人頭を悩ませていると、  
前号で厨房スタッフに弟子入  
りしていたH君が「ちよつと  
来て。見せたいものがある。」  
と、訪ねてきました。ついて行  
くとキャスターボードという  
難しそうな乗り物に挑戦する  
姿が。訊くと今回卒業したH  
君からもらったとのこと。

「昨日貰ったのに僕もう乗  
れるようになったよ。」と自慢  
げな彼にほっこり。こうやっ  
て大きい子の姿を追って成長  
していくのですね。

これからも皆様にお力添え  
をいただきながら、子ども達  
の成長を支えていけたらと存  
じます。

広報担当 前田美・大森・大塚